2007 年度統計力学 II 宿題 4 (5 月 2 日日出題、5 月 9 日提出) 解答 担当 吉森 明

[問題 1.] 状態密度が $D(\epsilon) = D_0 V \epsilon^2$ の時、T=0 のエネルギーと圧力を N と V と D_0 で表せ。

[解答] 絶対零度ではフェルミの分布関数 $f(\epsilon)$ は、階段関数 (教科書 (9.11) 式) になる。これを教科書 (9.6) 式に代入すると、

$$N = \int_0^{\epsilon_F} D(\epsilon) d\epsilon = \int_0^{\epsilon_F} D_0 V \epsilon^2 d\epsilon \tag{1}$$

$$= D_0 V \left[\frac{\epsilon^3}{3} \right]_0^{\epsilon_F} \tag{2}$$

$$=D_0 V \frac{\epsilon_F^3}{3} \tag{3}$$

 ϵ_F について解くと

$$\epsilon_F = \left(\frac{3N}{D_0 V}\right)^{1/3} \tag{4}$$

E についても同様に教科書 (9.7) 式から

$$E = \int_0^{\epsilon_F} \epsilon D(\epsilon) d\epsilon = \int_0^{\epsilon_F} D_0 V \epsilon^3 d\epsilon$$
 (5)

$$= D_0 V \left[\frac{\epsilon^4}{4} \right]_0^{\epsilon_F} \tag{6}$$

$$= D_0 V \frac{\epsilon_F^4}{4} \tag{7}$$

(3) 式を使って、

$$=\frac{3}{4}N\epsilon_F\tag{8}$$

(4) 式を代入、

$$=\frac{3}{4}N\left(\frac{3N}{D_0V}\right)^{1/3}\tag{9}$$

これで E を N と V と D_0 で表せた。

圧力は、教科書 P7(1.15) 式

$$P = -\left(\frac{\partial E}{\partial V}\right)_{S.N} \tag{10}$$

ここで、S はエントロピーを表す。この式は、S と N を一定にして微分する事を表しているが、今 T=0 だから S=0 となり (熱力学第 3 法則教科書 P7)、S 一定については気にしなくても良い。

$$P = -\frac{\partial}{\partial V} \frac{3}{4} N \left(\frac{3N}{D_0 V}\right)^{1/3} \tag{11}$$

$$=\frac{1}{4}\frac{N}{V}\left(\frac{3N}{D_0V}\right)^{1/3}\tag{12}$$

[問題 2.] 教科書 演習問題 P.142 [1]

[解答] 略。教科書 P219 の演習問題解答を見て下さい。